

がん種	大腸癌	レジメン名	FOLFIRI+パニツムマブ(インフューザーポンプ)	1コース日数	14
対象疾患	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌		総コース数	病勢進行まで継続	

	投与順	薬剤	投与量	投与方法	投与時間	投与スケジュール								
						1日目	2日目	3日目	...	...	...	...	14日目	
治療内容	RP1	生食シリンジ	10mL	ワンショット静注		●								
	RP2	デキサメタゾン	9.9mg	点滴静注	15分	●								
		クロルフェニラミン	5mg											
		生理食塩液	50mL											
	RP3	パニツムマブ	6mg/kg	点滴静注	1時間	●								
		生理食塩液	100mL											
	RP4	生理食塩液	100mL	点滴静注	30分	●								
	RP5	グラニセトロン	3mg/100mL	点滴静注	30分	●								
	RP6	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間 RP7と同時	●								
		5%ブドウ糖	250mL											
RP7	イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	1.5時間 RP6と同時	●									
	5%ブドウ糖	250mL												
RP8	フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	5分	●									
	生理食塩液	50mL												
RP9	フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	46時間	●									
	生理食塩液	※												
RP10	ヘパリンNaロック	10mL	ワンショット静注				●							
支持療法	<p>day2,3デキサメタゾン8mg内服考慮  治療開始時、ミノサイクリン錠(50mg)2錠分1、ヘパリン類似物質ローション(体)1日数回使用  皮疹発現時、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリーム(顔)、ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏(体)、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション(頭)使用  掻痒感発現時、フェキソフェナジン(60mg)2錠分2内服  皮疹・爪囲炎悪化時、ミノサイクリン錠(50mg)4錠分2、ヘパリン類似物質ローション(体)1日数回、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリームまたはベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏(顔)、クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム(体)、白色ワセリンまたはジメチルイソプロピルアズレン軟膏(皮膚亀裂部位)、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション(頭)使用</p>													
備考	<p>※生食の量は5-FUの量に応じて調整  RAS野生型にのみ適応  イリノテカン:UGT1A1測定  適宜血中Mg測定</p>													

休薬完了